

令和3年度

編入学生募集要項

出願期間	令和2年10月 5日(月)～ 令和2年10月 7日(水)
選抜期日	令和2年10月29日(木)
合格発表日	令和2年11月 6日(金)

独立行政法人国立高等専門学校機構

松江工業高等専門学校

〒690-8518 松江市西生馬町14-4

TEL (0852) 36-5131 (学生課)

FAX (0852) 36-5148 (学生課)

電子メール nyushi@matsue-ct.jp

インターネットホームページ

<http://www.matsue-ct.jp>

・ 松江高専教育理念（本科卒業生および専攻科修了生の将来的目標）

「創造性と実践的技術力を兼ね備えた国際的エンジニア」

学校とは、人間的成長を促す場である。

「学ぶ」ことは、その成長の核心にあり、生涯持ち続けるべき姿勢である。健全な心身を保ち、自己を向上させようとするからこそ「学ぶ」ことにほかならない。本校は、工学を学ぶ志を持った学生に対し、人間的成長はもとより、創造的な「エンジニア」をめざした教育を行う使命を持つ。

「創造力」とは、新たな形をつくり上げる力である。ただし、ただ創造的であるだけでは、本校がめざすべき「エンジニア」とはいえない。人工物は、利用者との相互作用によって絶えず進化していく。そのため、エンジニアには、地域あるいは世界中の人々との視点の共有が必要となる。多角的な視点を確保するための教養、他者との対話力、協働するための団結力、協調性が求められるのである。そして、真に創造的であるためには、情報を収集し分析する能力、および、確実な基礎に裏打ちされた技術を駆使し、対象によってさまざまに異なる問題を解決しようとする意欲が不可欠となる。

さらに、21世紀を生きる人間として、欠いてはならない倫理観がある。すなわち、単に自己や所属する組織の利益にもとづく行動ではなく、時にはそれらに反しても、地球上のあらゆる他者と同じ世界を生きる世界市民としての倫理観がそれである。それは、われわれの後にこの世界を生きるであろう未来の他者への視線を内包するものでもなければならぬ。その視線は、地球環境への配慮を当然の帰結とする。

自己を成長させるだけでなく、技術の進化や地域・国際社会、地球環境保全に貢献できる「エンジニア」こそが、われわれの理想である。

本校における教育は、このような「創造性と実践的技術力を兼ね備えた国際的エンジニア」をめざすものである。

・ 教育理念に基づいた松江高専（本科および専攻科）の教育目標

『学んで 創れる エンジニア』の育成

ま 教養、対話力、技術の基礎を身に付け、自己を向上させようとする姿勢

つ さまざまな視点から対象を観察し、新たな形を創りあげようとする意欲

え 世界市民として、社会に貢献し環境を考え、技術の進化に挑戦する意志

松江工業高等専門学校 3 つの方針

1. 本科アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れに関する方針)

本校では、教育目標に掲げている「学ぶ姿勢」、「創る意欲」、「挑戦する意志」を持った「エンジニア」の養成を目指しています。その目標を達成するための資質を備えた次のような学生の入学を期待しています。

- (1) ものづくりに興味がある人
- (2) 数学や理科に興味のある人
- (3) こつこつと物事に取り組める人
- (4) 人の話がきちんと聞ける人
- (5) 自分から行動を起こせる人
- (6) 自分の意見がきちんと言える人

★入学者選抜の基本方針

編入学選抜

高等学校を卒業した者、又は選抜試験を実施する年度の3月に高等学校を卒業見込みの者、若しくは高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者を対象とし、面接及び学力検査等を行い、志望する学科の学習に必要な学力、意欲及び適性のある学生を選抜します。

2. 本科ディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)

本校では、以下に示す能力・知識を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。なお、下記に定めるすべての能力・知識を DP 能力、それぞれの能力・知識につけられた番号(記号及び数字)を DP 番号とします。

○全学科共通

- G1. 日本語による記述・理解・発表等の基礎能力がある。
- G2. 日本及び他地域の歴史・文化・社会に関する基礎的な知識がある。
- G3. 外国語による基礎的なコミュニケーション能力がある。
- G4. 自然科学に関する基礎的な知識がある。
- G5. 社会生活のための豊かな見識と、健全な心身をもつ。

○機械工学科

- M1. 機械工学に関する基礎的な専門知識がある。
- M2. モノづくりに必要な基礎的なデザイン能力がある。
- M3. コンピュータを、機械の設計・製作等に役立てる基礎能力がある。
- M4. 実験データを収集・解析・考察できる基礎能力がある。

○電気情報工学科

- E1. 電気・電子機器、コンピュータを扱うための基礎的な専門知識がある。
- E2. 電気・電子機器、コンピュータを作るための専門的な基礎能力がある。
- E3. コンピュータを用い、情報を収集・活用・発信するための基礎能力がある。
- E4. データを収集・解析・評価するための基礎能力がある。

○電子制御工学科

- D1. 電気・電子分野に関する基礎的な知識がある。
- D2. 機械・力学分野に関する基礎的な知識がある。
- D3. 制御・情報分野に関する基礎的な知識がある。
- D4. 各分野の知識を、ものづくりやメカトロニクスに応用する能力がある。
- D5. データを収集・解析・考察できる基礎能力がある。

○情報工学科

- J1. コンピュータをつくるハードウェア技術の基礎的な専門知識がある。
- J2. コンピュータを動かすソフトウェア技術の基礎的な専門知識がある。
- J3. コンピュータをつなぐネットワーク技術の基礎的な専門知識がある。
- J4. データを解析・考察し、説明できる基礎能力がある。
- J5. コンピュータを用いて情報を収集・活用・発信するための基礎能力がある。

○環境・建設工学科

- C1. 構造力学、土質力学、水理学、建設材料学、環境工学に関する基礎的な知識がある。
- C2. 実験や実習を通じて現象の基本構造を解析するための基礎能力がある。
- C3. 設計製図、情報処理、測量に関する基礎的な技術がある。
- C4. 災害を防ぎ、環境を守る技術の基礎的な知識がある。

3. 本科カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

本校では、DP 能力を身につけるため、次のような編成方針、実施方針、成績評価基準に基づいた教育を行います。

（1）教育課程の編成方針

- (a) 中学卒業後という早い段階から専門課程の教育を実施する。このため、理論的な基礎とともに低学年から実験・実習を重視した実践的技術教育を実施する。
- (b) 幅広い教養と総合的な判断力を涵養するために、一般教養を含めた体系的な教育課程を編成する。
- (c) 教育課程の編成にあたり、適切な学年での科目配置やレベルを検討し、学年を超えた科目間連携にも配慮した授業内容や授業計画を設計する。
- (d) DP 能力を深化させるために、卒業研究など総合的な能力を駆使する科目を実施する。

（2）教育課程の実施方針

- (a) DP 能力が教育課程の中でどのように反映されているのかをシラバス、科目間連携図等によって学生に明示し、学生が履修計画を立てやすいように配慮する。
- (b) 各科目で到達目標をシラバス上で明確にし、学生が到達すべきレベルを明らかにする。
- (c) 各科目の授業で学生の能動的な参加を促す工夫を行い、予習・復習など授業時間以外の時間を含めた「学び」を実践させる。

（3）成績評価基準

本校では、授業科目の成績評価は各科目のシラバスに基づき以下の方法で行います。

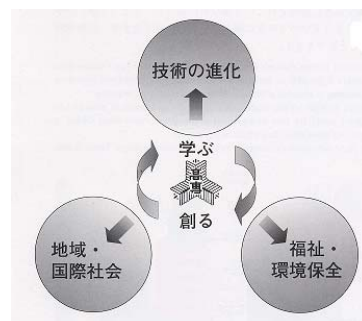
- (a) 成績評価は、定期試験の成績、小テスト、レポート等の提出物、履修状況などを総合して実施する。なお、実験実習、演習等の科目では定期試験を実施せず、履修状況や提出物等により評価することがある。
- (b) 原級留置となった場合、前年度までに履修した科目の単位を認定する。
- (c) 1～3年生までは50点以上の成績をもって単位を認定する。4年生以上にあつては、60点以上の成績を持って単位を認定する。
- (d) 特別学修として認められた資格を取得した場合、及び放送大学等他大学、高専で開設された授業科目の単位を修得した場合、本校の単位として認定することがある。
- (e) 成績評価の客観的な指標として、科目の単位数で重み付けを行った平均点を算出しクラス内での席次を決定する。
- (f) 成績の評語は次表とする。

1～3年生		4,5年生	
100～90点	秀	100～90点	秀
89～80点	優	89～80点	優
79～60点	良	79～70点	良
59～50点	可	69～60点	可
49～0点	不可	59～0点	不可

教育目標に込めた松江高専の「人づくり」への思い

本校章のモチーフは、所在地島根県の県木「黒松」です。中心に置かれた高専の文字から若芽が三方に伸びて、さらに大きく成長しようとする力強さを表しています。また、三方に伸びた芽が、「人づくり」の「人」の字を形成し、人としての成長だけでなく、人に役立つ人材の育成をも表しています。

本校では、健全な心身を保ち自己を常に向上させようとする「学び」の姿勢、新たな形をいかなる困難にも負けず「創り」上げようとする意欲、そして技術の進化や地域・国際社会、福祉、地球環境保全に貢献する意志、以上の3点を兼ね備えた「エンジニア」の育成を目標として教育を行っています。



※本科カリキュラム及び専攻科カリキュラムについては、以下の URL をご参照ください。

(年度によっては開講科目に変更が生じる場合があります。)

https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=31

令和3年度編入学生募集要項

1 募集人員及び編入学年次

学科別の募集人員及び編入学年次は、下表のとおりとします。

学 科	募 集 人 員	編 入 学 年 次
機 械 工 学 科 電 気 情 報 工 学 科 電 子 制 御 工 学 科 情 報 工 学 科 環 境 ・ 建 設 工 学 科	各学科とも若干名	第 4 学 年

2 選 抜 方 法

選抜は、学力試験の成績(筆記及び口頭試問)、調査書及び面接の結果を総合して行います。ただし、出願期間最終日から過去2年以内に実用数学技能検定の成績(2級合格以上)及び実用英語技能検定の成績(準2級一次試験合格以上)を有する場合は、それらの成績を口頭試問の成績とし、学力試験当日は口頭試問を実施しません。

3 出 願 資 格

高等学校を卒業した者、又は令和3年3月高等学校卒業見込みの者、並びに学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者としてします。なお、高等学校の卒業した学科及び在籍学科は問いません。

4 志 望 学 科

志望できる学科は、1学科とします。

5 願 書 受 付

- (1) 受付期間 令和2年10月5日(月)～10月7日(水)
郵送の場合も、10月7日(水)必着
- (2) 受付時間 9時00分～12時00分、13時00分～16時00分
- (3) 受付場所 〒690-8518 松江市西生馬町14-4
松江工業高等専門学校 学生課

6 出願手続

編入学志願者は、次の書類を本校所定の出願用封筒を用い、在学又は出身高等学校を経て提出してください。郵送の場合は、必ず**書留郵便**としてください。

出 願 書 類 等	
① 編入学願書 受験票 写真票	本校所定用の紙に、必要事項を記入したもの 写真票は、所定の位置に出願前3ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽の写真（縦4.5cm×横3.5cm）を貼付してください。
② 調 査 書	本校所定用の紙を使用し、在学又は出身高等学校長が作成し、厳封したもの。又は、これと同等のものとしします。 （本校様式以外を使用する場合、備考欄に1～3年の成績（順位）を記載するか、本校様式の学業成績欄に順位を記載したものを別途添付すること。）
③ 卒業見込証明書 又は卒業証明書	在学又は出身高等学校所定用の紙を使用してください。
④ 実用数学技能検 定合格証明書	出願期間最終日から過去2年以内の合格証明書原本を提出してください。（2級以上のみ。）※原本は試験日以降に直接本人に返還します。
⑤ 実用英語技能検 定合格証書（又 は一次試験個人 成績表）	出願期間最終日から過去2年以内の合格証書（又は、一次試験の個人成績表）原本を提出してください。（準2級以上のみ。）※原本は試験日以降に直接本人に返還します。
⑥ 検 定 料	入学検定料 16,500円 振込受付期間 令和2年9月29日（火）～令和2年10月7日（水） 【銀行から振り込む場合（ゆうちょ銀行以外）】 入学検定料は、本校所定の振込用紙を用い、最寄りの金融機関の窓口から振り込んでください。 「振込受付証明書」を受け取る際、金融機関の押印を確認し、「振込受付証明書」提出票に貼って提出してください。 【郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合】 「入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」を参照のうえ振り込み、振込依頼書（兼振替払出請求書）（お客さま控）の原本を提出してください。「振込受付証明書提出票」への貼付は不要です。 ※金融機関の収納印のないもの、ゆうちょ銀行の振込印字がないもの、「振込受付証明書」を貼ってないものは、出願書類を受理できません。 ※ATM（現金自動預払機）からの振り込みはしないでください。 ※振込の際は金融機関の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。
⑦ 返信用封筒 （受験票送付用）	長形3号（12cm×23.5cm）の封筒に志願者の住所・氏名を記入し、 404円分の切手（簡易書留料金を含む） を貼付してください。

【出願書類提出上の注意】

- (1) 願書提出後は、志望学科を変更できません。
- (2) 出願書類の不備なものは受け付けません。
- (3) 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (4) 出願書類提出後の記載事項の変更は認めません。
- (5) 受理した出願書類はいかなる理由があっても返還できません。
※ 実用数学技能検定合格証明書を除く。
※ 実用英語技能検定合格証書又は一次試験個人成績表を除く。

- (6) 入学願書を高等学校でまとめて郵送する場合も、個人毎に本校所定の出願用封筒に入れてください。必ず**書留郵便**とし、封筒に「**編入学願書在中**」と朱書してください。
- (7) 納付された検定料の返還請求ができるのは以下の場合です。
- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を納付したが出願書類の不備により受け付けられなかった場合
 - ・検定料を過大に納付した、又は重複で納付した場合
- 該当する場合は、松江工業高等専門学校 総務課会計室財務係（電話(0852)36-5121)までご連絡ください。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

7 選 抜 の 実 施

- (1) 学力試験は、筆記試験（専門又は物理）及び口頭試問※とします。志願者は、専門又は物理のどちらかを選択し、受験して下さい。

① 学力試験範囲

各試験科目の出題範囲は、別表のとおりとします。

② 学力試験・面接日時

月 日	試 験 科 目	試 験 時 間
10月29日(木)	専 門 又 は 物 理	8:50 ～10:20(90分)
	面 接	10:40 ～11:10(30分)
	口 頭 試 問 (英 語) ※	11:10 ～11:40(30分)
	口 頭 試 問 (数 学) ※	11:40 ～12:10(30分)

※実用数学技能検定の成績、実用英語技能検定の成績を有する者は実施しません。

③ 試 験 場

松江工業高等専門学校

- (2) 合格者の発表

① 日 時 令和2年11月6日(金) 14時

② 発表方法

本校において掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。

また、インターネット上の松江高専ホームページ

<http://www.matsue-ct.jp> に合格者の受験番号を参考までに掲載します。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

- (3) 入学に関する回答書の提出

合格通知を受けた者は、通知書に同封する「**入学に関する回答書**」を、必ず**令和2年11月18日(水)16時**までに松江工業高等専門学校学生課へ提出してください。郵送の場合は**簡易書留郵便**としてください。

「入学に関する回答書」で大学等に合格した場合、本校への編入学を辞退する意思を回答した者は、通知書に同封する「**入学・入学辞退届**」を、必ず**令和3年2月19日(金)16時**までに松江工業高等専門学校学生課へ提出してく

ださい。郵送の場合は**簡易書留郵便**としてください。

なお、「**入学に関する回答書**」「**入学・入学辞退届**」を提出しないものは、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

- (4) 試験当日、受験者が持参すべきものは、次のとおりです。
- 受験票，黒鉛筆(シャープペンシルも可)，消しゴム，直定規，コンパス
- ・持込を許可するもの
 - 鉛筆削り，ハンカチ，ティッシュペーパー，貴重品
 - ただし，監督者に申し出て，許可を受けてから使用すること。
 - ・携帯電話及び時計の持込はできません。(試験場には時計があります。)

8 入学手続

入学手続日，入学に必要な提出書類及び経費については，「入学に関する回答書」で入学の意思を回答した者又は「入学・入学辞退届」で入学の意思を回答した者に対して，令和3年3月上旬に改めて通知します。

9 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等がある入学志願者で，受験上特別な措置及び，修学上(実験・実習などの実技科目等)特別な配慮を必要とする者は，出願前に予め学生課へ相談してください。

10 出願等に関する問い合わせ

出願等に関して不明な点があるときは，学生課(電話：0852-36-5131)に問い合わせてください。

11 受験票の送付

願書を受理した者には，令和2年10月21日(水)までに「受験票」を送付しますので，届かなかった場合は，上記の問い合わせ先に申し出てください。

12 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は，入学者選抜の資料として利用するとともに，次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料，授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

13 検定料免除の臨時措置について

令和2年度の災害救助法の適用があった地域に居住していて被災した受験者は，申請することにより検定料を免除する場合があります。

詳細は，学生課(電話：0852-36-5131)に問い合わせてください。

別 表

試 験 科 目		出 題 範 囲
専 門	機械工学科 機械設計	機械と設計 機械に働く力と仕事 材料の強さ ねじ、軸とその部品、歯車（平歯車）
	電気情報工学科 電気基礎	直流回路 磁気と静電気 交流回路 電気計測
		電子情報技術 コンピュータの電子回路 コンピュータの構成と機能 プログラミング
	電子制御工学科 物 理	力と運動 直流回路
		電気・電子 磁気と静電気 交流回路 半導体と回路
	情報工学科 ソフトウェア技術	プログラミング アルゴリズム
ハードウェア技術 電気・電子回路 計算機工学		
環境・建設工学科 土木設計	力の釣合い 静定構造物の計算 部材断面の性質 材料の強度と部材の応力	
物 理		物理基礎：全範囲 物理：平面運動と剛体のつりあい，運動量の保存，円運動と単振動
口頭試問(英語)*		実用英語技能検定準2級レベルの問題
口頭試問(数学)*		実用数学技能検定2級レベルの問題

* 実用数学技能検定の成績，実用英語技能検定の成績を有する者は実施しません。